

# シロザ

ヒコ科（アカザ科），一年生

やや  
難

本県の大豆作において代表的な雑草の1つ。初期生育はアメリカセンダングサやオオイヌタデに劣るが，草丈は1.5m以上となり大型化する。アカザは新芽の基部に赤い粉が付くが，生育が進むと赤い粉が目立たなくなり，シロザと区別がつかなくなることも多い。

発生期間	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	出芽							開花結実				



形態的特徴	子葉は線形で長さ5mm程度。1・2葉は対生，3葉以降は互生となる。葉身は三角状で，新葉には白い粉がつく。茎は直立し，木質化して硬く，分枝も多く発生する。草丈は大きいもので2mを越える。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出芽は3月中旬頃～9月と長い。</li> <li>・種子は湛水条件でも3年以上は生存するので，水稻作後も発生する。</li> <li>・多量の種子を生産するので，一度蔓延させると翌年以降もしつこく発生し続ける。</li> </ul>
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌処理剤：効果は一般に高い。</li> <li>・大豆バサグラン液剤(全面)：効果は低い。処理後低日照時を除いて2葉程度までで一定の生育抑制が期待できる。</li> <li>・アタックショット乳剤：2葉までで安定的に枯死～強い生育抑制効果がある。3～6葉では枯死率が高くはないものの，7～10日間の生育抑制効果がある。</li> </ul>
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆作付前不耕起処理により，当年産の種子を早期に出芽させる。(3月下旬～5月に多く出芽する)</li> <li>・大豆播種前湛水処理により，種子を斉一に出芽させる。</li> <li>・晩播(7月上旬)にすると発生は非常に少なくなる。</li> </ul>